

2017年度第4回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 鳥取特別

鳥取(とっとり)は、中国地方北東部の県。南部は中国山地で、北部の日本海沿いに鳥取・倉吉・米子の三平野がある。また、同県東部の市。同市は、江戸時代に池田氏の城下町として発展した。日本最大級の砂丘である鳥取砂丘があり、国の天然記念物に指定されている。

○ 野分特別

野分(のわき)は、秋から初冬にかけて吹く強い風。台風 of 古称。「野の草を分けて吹く」の意で「のわけ」ともいう。また、『源氏物語』第28帖の巻名であり、俳句では秋の季語として使われている。

○ エニフステーキス

エニフ(Enif)は、ペガサス座を構成する星。同星座を構成する恒星の中で最も明るい星である。名は、ペガサスの鼻の部分にあたることからアラビア語で「馬の鼻」を意味する「アル・ Anf ・アル・ファラス(Al Anf al Faras)」に由来すると言われている。

<第2日>

○ 新涼特別

新涼(しんりょう)は、初秋の涼気のこと。秋涼ともいう。俳句では秋の季語として使われる。

○ 西宮ステーキス

西宮(にしのみや)は、兵庫県南東部の市。西宮神社の門前町としてだけでなく、西国・中国街道の合流地であることから宿場町としても栄えた。南部にある阪神甲子園球場は、高校野球の全国大会が行われることで知られ、プロ野球チームの阪神タイガースのホームグラウンドとしても有名。

○ サマースプリントシリーズ産経賞セントウルステークス（GⅡ）

サマースプリントシリーズの最終戦。

本競走は、昭和 62 年に創設された重賞競走。当初は 1400m で実施されていたが、平成 12 年にスプリンターズステークスの実施時期が変更されたことに伴い、距離が 1200m に短縮され、実施時期も秋季競馬の開幕週へと繰上げられた。なお、第 1 着馬には同年のスプリンターズステークスへの優先出走権が与えられる。

セントウル（Centaur）は、ギリシャ神話に登場するケンタウロスの英語訳。上半身が人間、下半身が馬の姿をした架空の怪物。阪神競馬場内のセントウルガーデンにはセントウル像があり、同競馬場のシンボルとなっている。

産業経済新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第 3 日>

○ 阪神ジャンプステークス（J・GⅢ）

本競走は、平成 11 年に創設された障害重賞競走。前身の『阪神障害ステークス』は昭和 43 年に創設され、当初は 3300m で行われていた。幾度かの変遷を経て J・GⅢ に格付けされた後は『阪神ジャンプステークス』と名を新たにし、3140m で実施されている。

○ 野路菊ステークス

野路菊（のじぎく）は、キク科の多年草。西日本の海岸付近の崖や山道などに自生し、秋に白色、まれに黄色の頭状花を多数咲かせる。また、兵庫県の県花に指定されている。花言葉は「真実」「元気」。

○ 瀬戸内海特別

瀬戸内海（せとないかい）は、本州・四国・九州に囲まれた内海。淡路島や小豆島をはじめ数多くの島と、周防灘などの広い水域から成る。景観に優れ、沿岸部を中心とした一帯が瀬戸内海国立公園に指定されている。島々には段々畑が多く、ミカンなどが栽培されている。

○ オークランドレーシングクラブトロフィー

本競走は、競馬を通じて日本とニュージーランドの親善を図ることを目的として平成4年に創設された競走。

オークランドレーシングクラブは、オークランド・ジョッキー・クラブとオークランド・ターフ・クラブとの合併により、1874年に設立されたニュージーランド最大の競馬統括団体。3月に行われる『ニュージーランドダービー』『オークランドカップ』は、それぞれ3歳馬および3歳以上馬における最高峰の競走である。また、交換競走として『JRA トロフィー』が行われている。

<第4日>

○ 夙川特別

夙川（しゅくがわ）は、兵庫県西宮市西部を流れる川。全長約7km。六甲山地東端の甲山（かぶとやま）付近に源を発して南流し、大阪湾に注ぐ。上流の甲陽園付近から川尻の海岸までは天井川となっており、中下流の河川敷は夙川公園として整備されている。河川敷沿いには桜並木が続いており、「日本さくら名所100選」に選定されている。

○ 能勢特別

能勢（のせ）は、大阪府の北西端の町。兵庫県と京都府の境に位置する。昔ながらの里山風景を残しており、栗の産地としても有名。

○ 関西テレビ放送賞ローズステークス（GⅡ）（秋華賞トライアル）

本競走は、昭和58年に創設された重賞競走。当初は京都競馬場の2000mで行われていたが、平成8年に阪神競馬場へ移設され、19年より芝外回りコース新設に伴い1800mに短縮された。なお、第3着までの馬には秋華賞への優先出走権が与えられる。

関西テレビ放送は、大阪市に本社を置く放送局。昭和33年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

ローズ（Rose）は、バラを意味する英語。花言葉は「愛」「美」。

<第5日>

○ 甲武特別

甲武（こうぶ）は、兵庫県六甲山地の前山の1つで、阪神競馬場からも眺望できる甲山の「甲」と、その麓を流れる武庫川の「武」を合成した名称。武庫川を挟んで西宮市と尼崎市を結ぶ甲武橋がある。

○ 吹田特別

吹田（すいた）は、大阪市に北接している大阪府中部の市。昭和 45 年の日本万博博覧会（大阪万博）の開催地。ビール・化学・金属工業等の産業が盛んで、大阪市のベッドタウンとなっている。

○ 仲秋ステーキス

仲秋（ちゅうしゅう）は、旧暦 8 月の異称。現行暦では白露（9 月 8 日頃）から寒露の前日（10 月 7 日頃）までにあたる。旧暦では秋を 7 月から 9 月とし、その真ん中にあたる 8 月を仲秋と呼んでいた。

<第 6 日>

○ ききょうステーキス

ききょう（桔梗）は、キキョウ科の多年草。秋の七草の 1 つ。葉は卵形で、夏から秋にかけて、青紫色で星型の花を咲かせる。花言葉は「変わらぬ愛」「気品」。

○ 夕月特別

夕月（ゆうづき）は、秋の宵月のこと。一般に、夕方西の空に見える月を指し、俳句では秋の季語として使われる。

○ 大阪スポーツ杯

大阪スポーツは、東京スポーツ新聞社の関西支社が発行するスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第 7 日>

○ 甲東特別

甲東（こうとう）は、六甲山東部の地区。阪神競馬場のある一帯はこの地区にあたる。

○ ムーンライトハンデキャップ

ムーンライト（Moon Light）は、月明かりを意味する英語。旧暦 8 月 15 日（現行暦では 9 月中旬～10 月初旬）の夜に見られる月は 1 年で最も美しいとされ、中秋の名月と呼ばれている。

○ 神戸新聞杯（GⅡ）（菊花賞トライアル）

本競走は、昭和28年に『神戸盃』の名称で創設された重賞競走。47年に現在の名称に改められた。当初は2000mハンデキャップ戦であったが、その後幾度かの変更を経て、平成15年より馬齢重量になった。19年より実施距離が2400mに延長され、現在に至る。なお、第3着までの馬には菊花賞への優先出走権が与えられる。

神戸新聞は、神戸新聞社より発行されている日刊紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第8日>

○ ヤマボウシ賞

ヤマボウシは、ミズキ科の落葉高木。葉は楕円形で先が尖っており、花びら状の白い4枚の苞を持ち、秋には赤い集合果が実る。また、兵庫県宝塚市の市木でもある。花言葉は「友情」。

○ 芦屋川特別

芦屋川（あしやがわ）は、兵庫県芦屋市を流れる川。延長約8km。六甲山地を源とする天井川であり、電車が川より低い位置を走っているという珍しい光景を目にすることができる。下流では国道2号線を境に北側の川沿いには桜並木が、南側には松並木が連なっている。

○ シリウスステークス（GⅢ）

本競走は、平成9年に創設された重賞競走。当初1400mで実施されていたが、19年より2000mで実施されている。

シリウス（Sirius）は、おおいぬ座のアルファ星。太陽を除くと、地球から見える恒星の中では最も明るい。名は、ギリシャ語で「焼き焦がすもの」を意味する「セイリオス（Seirios）」に由来する。

<第9日>

○ 兵庫特別

兵庫（ひょうご）は、近畿地方西部の県。かつての但馬・播磨・淡路の三国および摂津、丹波二国の一部。また、神戸市中部の区。沿岸部は古くからの良港で、奈良時代に大輪田泊が築かれて以降発展し、中世には兵庫津として日宋、日明貿易の拠点として栄えた。

○ 道頓堀ステークス

道頓堀（どうとんぼり）は、大阪市中央区の劇場や飲食店などが立ち並ぶ関西地区を代表する歓楽街。名は、元和元年（1615）に完成した運河の開削に尽力した安井道頓に由来する。

なお、同地には JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ道頓堀がある。

○ ポートアイランドステークス

ポートアイランド（Port Island）は、兵庫県神戸市、神戸港の一隅を埋め立てて造られた海上都市。着工は昭和 41 年で、56 年に日本初の人工島として誕生した。